

ISSN 2759-8640

# レオンチェフ・ライブラリー レポート

No.1

レオンチェフ文庫の来歴と  
整理・分類作業について

2025年 1月

法政大学

日本統計研究所



# レオンチェフ文庫の来歴と整理・分類作業について<sup>1</sup>

菅幹雄（法政大学）

小俣惇（明治大学大学院）

## 1. 来歴

法政大学日本統計研究所は、産業連関表の創始者であり、ノーベル経済学受賞者であるワシリー・レオンチェフ教授の蔵書（以下、「レオンチェフ文庫」と呼ぶ）を2024年現在所蔵している。ここではその来歴を記す。

レオンチェフは当初、一橋大学に文庫を寄贈する意思があったようである。都留（1999）によれば「ハーヴァード大学にレオンチェフがこしらえていた I-O 分析にかんする彼の研究所は、1987 年ごろから政府筋の財政的支援削減のため存続が困難になり、彼は、それまでに研究所内に蓄積された I-O 分析関係の調査資料（未公表のものを含む）を中心とした図書・文書の一切を、一応 8 年の猶予期間をおいて一橋大学に寄贈したい、と私のところに提案してきた。…（中略）…この提案は、一度は成立しかけたのだが、最終的には残念ながら不首尾に終わった。」

筑井（2003）によれば、「レオンチェフ博士は何回か来日され、その都度、（生存科学）<sup>2</sup> 研究所に立ち寄られ、関係は一層親密になり、教授はその蔵書一切を生存科学研究所に贈与されることとなった。この蔵書はレオンチェフ文庫と呼ばれているが、平成 9 年はじめ迄に、全てが生存科学研究所に送られ」た。江見（2003）によれば「生存科学研究所では、当初、所有権のあるレオンチェフ文庫を、いずれかの大学図書館に一括購入してもらい、その対価を得ることを考えていた」。だが、同文庫の購入を希望した大学図書館はなかったようで、「文庫の利用権をもつ関係四団体（生存科学研究所、パパイオス（環太平洋産業連関分析学会）<sup>3</sup>、中央大学、慶応大学産業研究所）によって、その保管・運営についての契約書が取り交わされ、保管は中央大学に委託された」。同文庫の保管が委託された中央大学の田中（1997）は「中央大学では『レオンチェフ文庫等運営委員会』を設けてこれらの資料の整理を進めているが、できるだけ早い時期に『レオンチェフ国際 I-O センター』とでもいうべきものに発展することを願っている。このセンターは、レオンチェフ文庫を中核とした産業連関分析の資料センターとして、また産業連関分析を一層発展させるための研究開発センターとして大きな役割を果たすことを期待している」と記している。そして中央大学は相当の費用をかけて同文庫の書誌データを作成し、図書や資料を整理・公開した。

その後、レオンチェフ文庫の所有権は中央大学に移転した。江見（2003）によれば「中央大学から、文庫の受け入れ段階からの協力と、その後の図書の分類・整理に尽力したことを

---

<sup>1</sup> 本稿における整理・分類作業は菅が方針を決め、実際の作業は全て小俣が担当した。

<sup>2</sup> （）内は著者が補った。

<sup>3</sup> （）内は著者が補った。

踏まえて、文庫を生存研から無償で寄贈を受けたいという強い希望が示された。生存研の理事会は、慎重審議の結果、贈与」を認めた。2002年3月には生存科学研究所から中央大学にレオンチェフ文庫の贈与式が行われ、文庫の「受領書」が、阿部三郎理事長から生存科学研究所江見康一理事長に手渡された。

それから20年が経過した2022年3月に中央大学経済研究所から環太平洋産業連関分析学会八木尚志会長（当時）宛にレオンチェフ文庫の引き受け先を探している旨の連絡があった。同学会の八木会長と菅副会長（いずれも当時）は中央大学を訪問、レオンチェフ文庫の保管状況を視察し、その取り扱いについて協議した。2022年4月に菅が環太平洋産業連関分析学会の会長に就任し、レオンチェフ文庫の引き受け先を探すことになった。環太平洋産業連関分析学会協議会および運営委員会、そして法政大学日本統計研究所運営委員会における協議の結果、法政大学日本統計研究所がレオンチェフ文庫を受け入れることになった。2022年12月に中央大学大村雅彦理事長と法政大学廣瀬克哉理事長の間でレオンチェフ文庫の無償譲渡契約書が締結された。2023年1月に中央大学経済研究所から法政大学日本統計研究所にレオンチェフ文庫の移送が行われた。

## 2. 整理作業

レオンチェフ文庫の資料は中央大学から段ボール箱で配送された。配送された段ボール箱の写真は写真付1および写真付2のとおりである。各資料には背表紙等に番号が付され、番号順に段ボール箱に格納されていた（写真付1）。段ボール箱にはどの資料が格納されているかわかるように上記の該当する番号が付されていた（写真付2）。中央大学において棚などに格納されていたもの以外の資料に関する段ボール箱は図付1のとおり合計で250箱であった。

上記段ボール箱単位で配架を行い、写真付3および写真付4のとおり配架した。配架図は図付2のとおりである。

また各資料に関する情報のリスト（Excel形式）を中央大学から受け取った。リストでは約9,400点の資料が存在している。

## 3. 出版年別および言語別の資料数

上記2で整理した資料のうち約9,200点に関し<sup>4</sup>、出版年別および言語別の資料数の分析を行った。言語別の資料数は図1のとおりである。英語の資料が最も多く、次にフランス語と続く。

---

<sup>4</sup> 分析に使用したリストは一部精査中であり、本論文では現時点での分析結果を示すものである（以下同じ）。

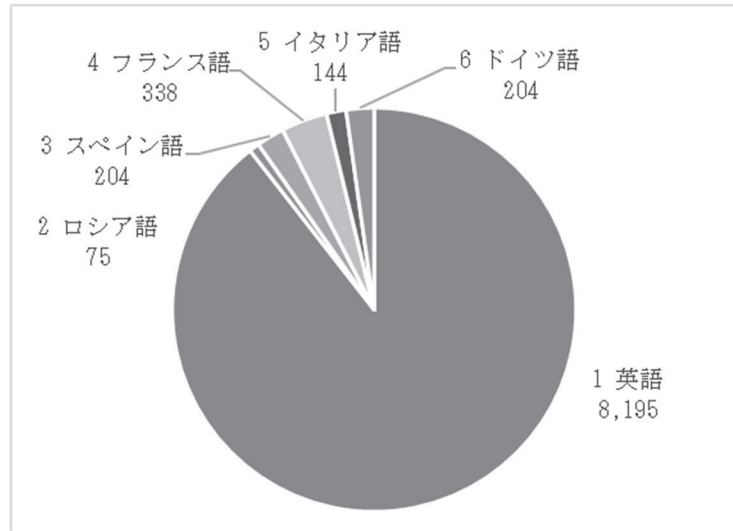


図1 言語別資料数

出版年別の資料数は図2のとおりである。資料はレオンチェフが渡米した1930年代以降から亡くなった1999年までを中心に、1970年代が最も多く、次に1960年代、1950年代と続く。

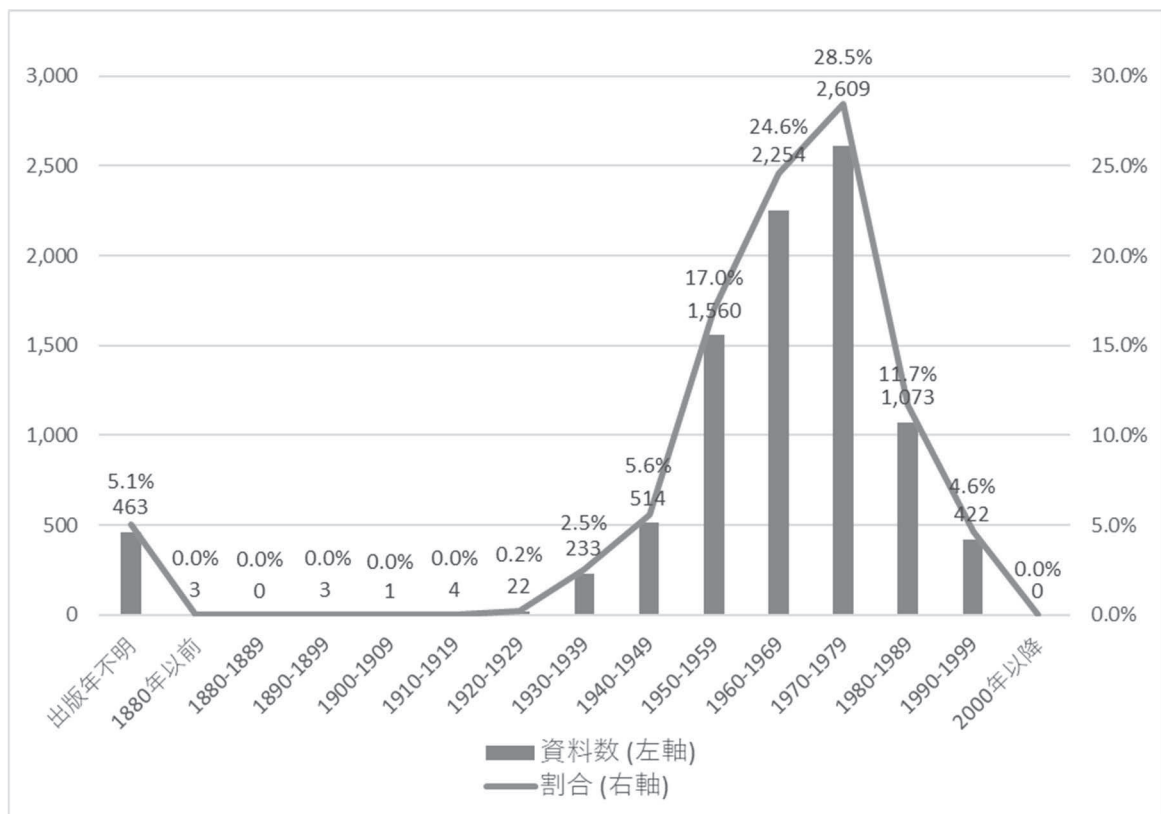


図2 出版年別資料数

KH Coder version 3（以下「KH Coder」）は立命館大学の樋口耕一教授が開発したテキストマイニングソフトである。KH Coderの「外部変数と見出し」を用いて出版年別言語別にクロス集計をすると図3のとおりになる。図3を縦に見ると、各言語別にどの出版年代の資料が存在するのかわかり、正方形の「バブル」の大きさ（面積）は、言語ごとの各出版年代別の資料数の割合を示している。英語では出版年代が1950年代から1970年代、フランス語では1960年代から1990年代、イタリア語では1980年代から1990年代を中心に資料が存在し、ロシア語では1970年代、スペイン語では1960年代、ドイツ語では1960年代の資料が最も多く存在している。出版年が最も古い資料のひとつは、1900年頃のリプリント版ではあるが1872年に出版されたチャールズ・ダーウィンの『種の起源』（第6版）である。

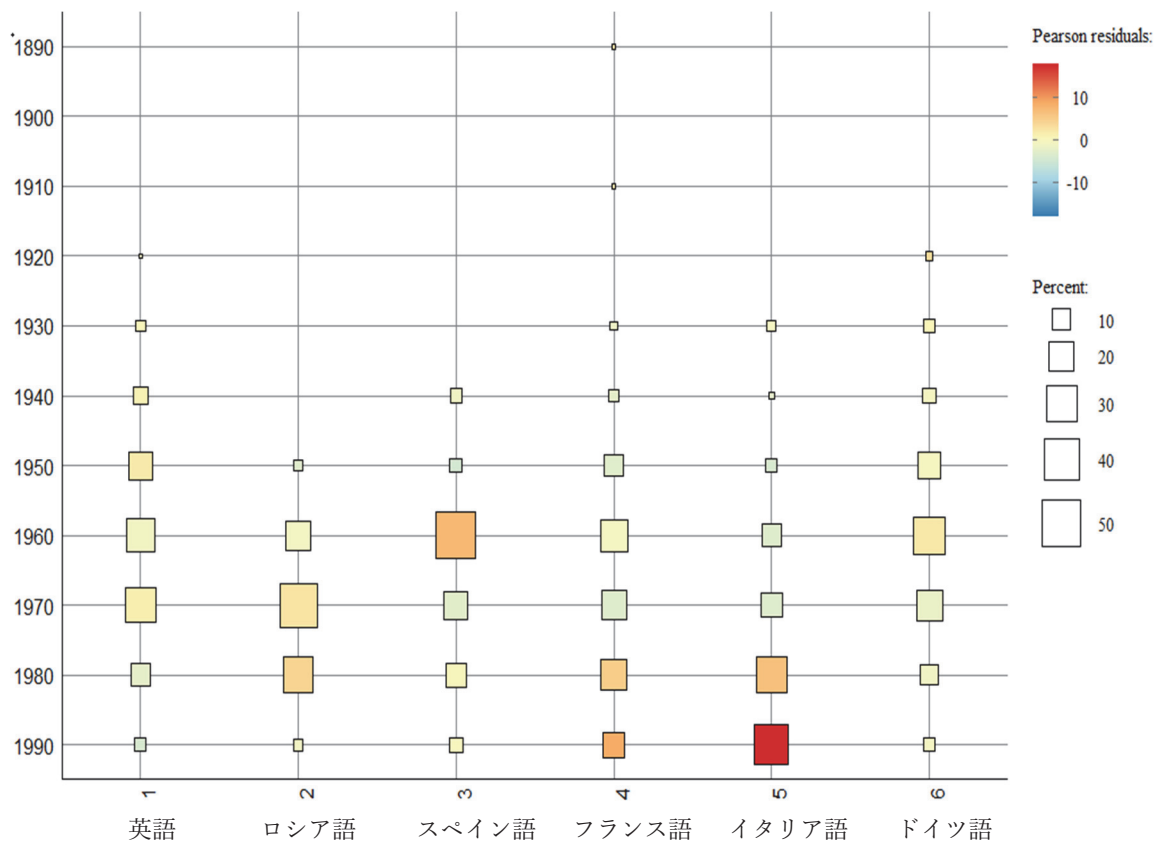


図3 出版年別言語別のクロス集計

#### 4. 分類区分

次にテキストマイニングソフト KH Coder 等を用いてどのようなジャンルの資料が存在するか、機械的な分析を行った。先ず分類区分については、一橋大学附属図書館シュムペーター文庫<sup>5</sup>を基に、レオンチェフの専門であった産業連関表などを追加した。その際 KH Coder で原文を語に分解し、名詞を連結したうえで、「抽出語リスト」から頻出数が多い語を選定した（選定の例は表 1 のとおり）。分類区分「B. Economics」「L. Statistics」「Z. Periodicals」の下に新たな詳細分類区分を設定し、分類区分一覧を表 2 のとおりとした。

表 1 KH Coder の「抽出語リスト」から新たな分類区分作成の例

抽出語リスト	分類区分	
input-output_model	Bd.	Input-Output Model
economic_planning	Be.	Economic Planning
input-output_table	La.	Input-Output Table
Population	Ld.	Population
labor_force	Le.	Labor Force
Econometrica	Za.	Journal & Report (Economics)
economic_journal	Za.	Journal & Report (Economics)
note	※対応なし	
study		
method		
they		
fact		

注) 「対応なし」とは、抽出されたが、それに対応した新たな分類区分を設定しなかったという意味である。

<sup>5</sup> シュムペーター文庫とは「ケインズと並ぶ近代経済学の巨匠、シュンペーター(Joseph Alois Schumpeter, 1883.2.8-1950.1.8)がハーヴァード大学時代に収集した資料の一部。その内容は、世界各国の経済関係の雑誌と、シュンペーターに贈られた各国の学者の論文の抜刷などであり、その中にはシュンペーターの手沢本も多く含まれている。」(2024年11月27日閲覧)  
[https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/collections\\_bunken/collections/#](https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/collections_bunken/collections/#)

一橋大学附属図書館シュムペーター文庫の分類区分は以下の HP を参照した(2024年11月27日閲覧)。

[https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/collections\\_bunken/collections/jsinserts/](https://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/collections_bunken/collections/jsinserts/)

表2 分類区分一覧

A.	General
B.	Economics
Ba.	Economic Theory
Bb.	Economic Policy
Bc.	Economic History & Condition
Bd.	Input-Output Model
Be.	Economic Planning
Bf.	Environment
C.	Public Finance
D.	Commerce & Management
E.	Accounting
F.	Money & Banking
G.	Transportation
H.	Insurance
I.	Industry
K.	Sociology & Social Problems
L.	Statistics
La.	Input-Output Table
Lb.	National Accounts & National Income
Lc.	Censuses
Ld.	Population
Le.	Labor Force
Lf.	Employment
Lg.	Housing
M.	Law
N.	Politics
O.	Philosophy
Q.	History
S.	Science & Technology
X.	Offprints
Z.	Periodicals
Za.	Journal & Report (Economics)
Zb.	Journal & Report (Others)

## 5. 分類結果

次に各資料が上記で設定した分類区分のいずれに該当するのか、Excelのワークシート関数であるサーチ関数を用いて分類を行った。サーチ関数で探索する語に関しては、一部分類区分ではさらに細かく設定している（約190）。分類区分とサーチ関数で探索する語の対応（一部）は表3のとおりである。

分類結果は表4のとおりである。全資料のうち約7,100点を分析対象としている。表4では同一資料が複数の分類区分で重複してカウントされている点に注意が必要である。分類区分1つのみにカウントされている資料数は約4,500点であるが、総重複件数は約6,100点であり、重複してカウントされている資料数は約2,600点である。

テキストマイニングの分析方法の一つに共起ネットワーク図がある。これは「語と語のつながり関係、段落または文における語の出現パターンの類似性をもとに、文章中におけるこれらの語のつながり関係をネットワーク図として可視化したもので、文章を分析する際に利用されている」（福井、阿部（2013））。

重複してカウントされている資料約2,600点のうち一部について、どのような分類区分で重複しているか共起ネットワーク図による分析を行った。共起ネットワーク図とは、「テキストデータ内において出現頻度の高い語のうち、出現パターンの類似した語、すなわち共起の程度が強い語を線で結んだネットワーク図であり」「出現回数の多い語ほど大きい円で表示したものである」（福井、阿部（2013））。図4の共起ネットワーク図は、最小出現数35、類似性測度Jaccard係数（例えば2つの集合の場合には $A \cap B / A \cup B$ と定義される）が上位60を描画したものである。図中の円は「ノード」といい、1つの円につき1つの語を示しており、円の大きさは原文中での出現頻度を表している。強く結びついたノードどうしは機械的に自動で分類・色分けがされ、この色分けによるグループを「サブグラフ」という（図4ではサブグラフが把握しやすいようサブグラフごとに補助線で区切っている）。ノードをつなぐ線は「エッジ」といい、線でつながれた語は原文中に共に現れる頻度が高く、関連が強いことを示している。実線のエッジは同じサブグラフに属する語同士を結んでおり、点線のエッジは異なるサブグラフに属する語同士を結んでいる。ただし、語同士は線でつながれていることに意味があり、その距離は共起の程度とは関係がない。実線で結ばれた語のサブグラフは11であった。これは「S08」を例にとると、「JOURNAL」と「SCIENCE」が同一の文と一緒に利用される頻度が高いことを意味する。

加えて、図4のうちサブグループ「S01」「S02」「S05」に関して、KWICコンコーダンス機能（ある語が利用されている原文を参照できる機能）で原文を参照して、重複している例を表5のとおり抽出した。表5におけるケース1では、原文の「Review of Economics and Statistics」のうち「Review of Economics and Statistics」が「Za. Journal & Report (Economics)」に、「Statistics」が「L. Statistics」に該当することを意味する。同様にして、ケース2では原文「The Monthly Report on the Labor Force」のうち「The Monthly Report」が「Z. Periodicals」に、「Labor Force」が「Le. Labor Force」に該当し、ケース3では原文

「1972 Census of Wholesale Trade」のうち「Census」が「Lc. Censuses」に「Trade」が「B. Economics」に該当している。

表3 分類区分と Excel で探索している語の対応表（一部）

分類区分		Excel で探索している語
B.	Economics	Economics
B.	Economics	Innovation
B.	Economics	Structural Change
B.	Economics	Technological Change
B.	Economics	Market
Ba.	Economic Theory	Theory
Ba.	Economic Theory	Linear Programming
Ba.	Economic Theory	Interest Rate
Ba.	Economic Theory	Business Cycles
Ba.	Economic Theory	Economic Dynamics
L.	Statistics	Statistics
L.	Statistics	Small-Area Data Notes
L.	Statistics	Figure
L.	Statistics	Trend
L.	Statistics	Economic Statistics
Za.	Journal & Report (Economics)	Econometrica
Za.	Journal & Report (Economics)	Review of Economics
Za.	Journal & Report (Economics)	American Economic Review
Za.	Journal & Report (Economics)	Economic Journal
Za.	Journal & Report (Economics)	Review of Economic Studies
Za.	Journal & Report (Economics)	Quarterly Journal of Economics

表4 分類結果

分類区分		資料数			
			La.	Input-Output Table	204
A.	General	28	Lb.	National Accounts & National Income	187
B.	Economics	3,793	Lc.	Censuses	1,089
Ba.	Economic Theory	806	Ld.	Population	789
Bb.	Economic Policy	74	Le.	Labor Force	122
Bc.	Economic History & Condition	7	Lf.	Employment	154
Bd.	Input-Output Model	135	Lg.	Housing	421
Be.	Economic Planning	162	M.	Law	30
Bf.	Environment	175	N.	Politics	19
C.	Public Finance	6	O.	Philosophy	3
D.	Commerce & Management	47	Q.	History	55
E.	Accounting	37	S.	Science & Technology	427
F.	Money & Banking	68	X.	Offprints	225
G.	Transportation	166	Z.	Periodicals	1,511
H.	Insurance	2	Za.	Journal & Report (Economics)	1,124
I.	Industry	286	Zb.	Journal & Report (Others)	255
K.	Sociology & Social Problems	6			
L.	Statistics	3,835			

表5 複数の分類区分において重複してカウントされている例

ケース	原文	語(上段)と分類区分 (下段)の対応 ①	語(上段)と分類区分 (下段)の対応 ②
1	Review of Economics and Statistics	Review of Economics and Statistics	Statistics
		Za. Journal & Report (Economics)	L. Statistics
2	The Monthly Report on the Labor Force	The Monthly Report	Labor Force
		Z. Periodicals	Le. Labor Force
3	1972 Census of Wholesale Trade	Census	Trade
		Lc. Censuses	B. Economics

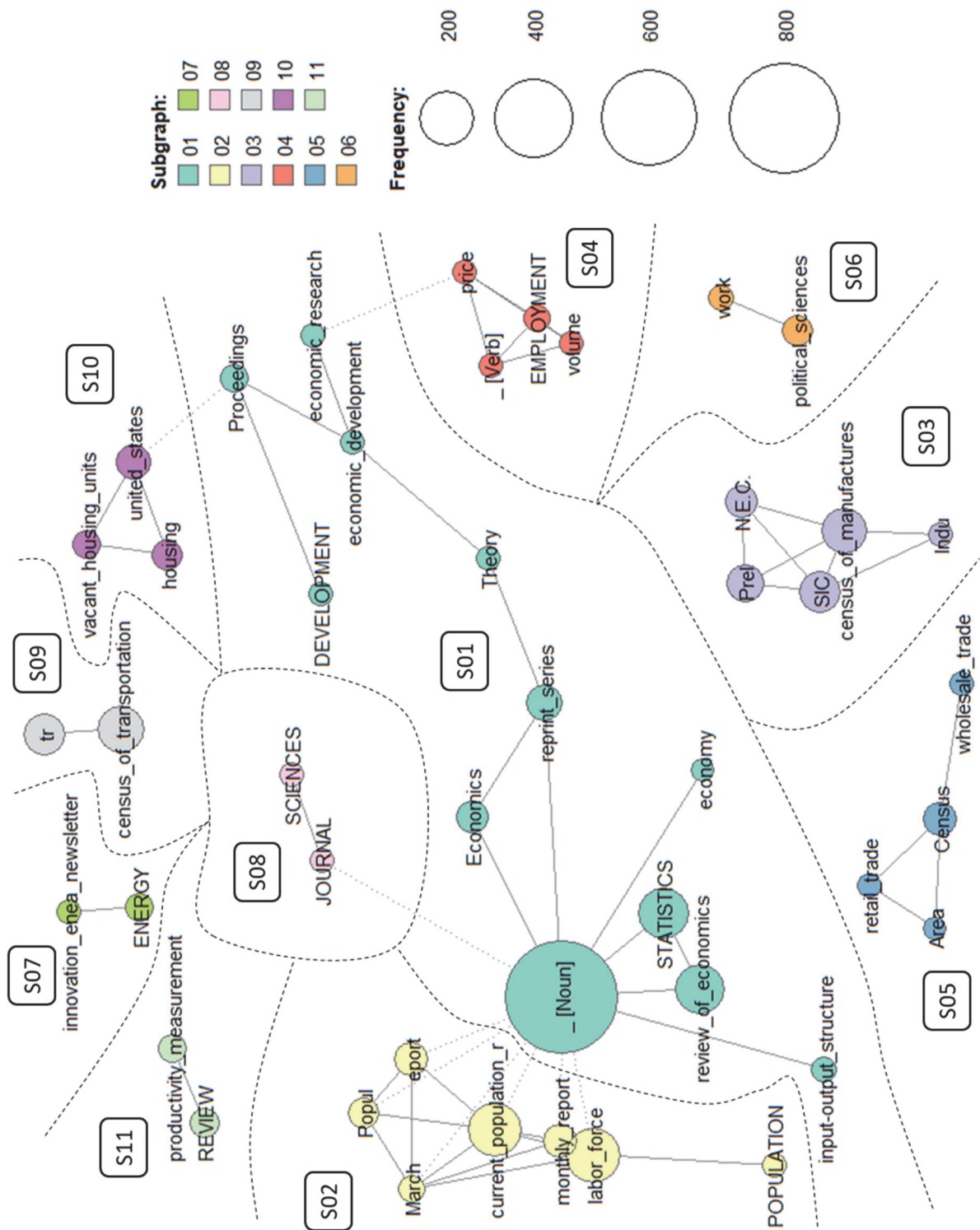


図4 共起ネットワーク図 (複数の分類区分において重複してカウントされている資料)

以上を踏まえると、分類結果の表4から「B. Economics」「L. Statistics」「Z. Periodicals」の資料がとくに多いと考えられる。また、「B. Economics」のうち「Ba. Economic Theory」、「L. Statistics」のうち「Lc. Censuses」や「Ld. Population」、「Z. Periodicals」のうち、「Za. Journal & Report (Economics)」がとくに多いと考えられる。

また表4はコンピューターにより機械的に分類したものであるので、精度検証を行うために資料の一部を抽出して目視によって分類を検討し、コンピューターが機械的に設定した分類区分と目視による資料の区分が整合的か否かを確認した。「適合度」を「分類区分に適合している資料数」÷「抽出数」と定義し、表4に該当した資料のうち100点の資料を無作為抽出して確認したところ、「適合度」の95%信頼区間は $0.880 \pm 0.064$ であった<sup>6</sup>。したがって、コンピューターによる機械的な分類は約9割整合的であることになる。

#### 参考文献

- 江見 康一(2003)「レオンチェフ文庫の寄贈について」『生存科学』Vol.14A, pp.59-60.  
田中勉(1997)「レオンチェフ文庫と産業連関分析の発展」『産業連関』Vol.7, No.3, p.3.  
筑井甚吉(2003)「レオンチェフ博士と生存科学研究所」『生存科学』Vol.14A, pp.55-57.  
都留重人(1999)「回想！ワシリー・レオンチェフ」『産業連関』Vol.9, No.1, pp.3-6.  
樋口耕一(2020)『社会調査のための計量テキスト分析 第2版』ナカニシヤ出版。  
福井美弥, 阿部浩和(2013)「異なる文体における共起ネットワーク図の図的解釈」『図学研究』Vol.47, No.4, pp.3-9.

---

<sup>6</sup> 95%信頼区間の計算式は以下のとおり。

$$\text{適合度} \pm 1.96 \times \sqrt{\frac{\text{適合度}(1 - \text{適合度})}{n}}, \quad \text{ただし } n \text{ は抽出数}$$



写真付1 段ボール箱の中身



※写真左上における番号は法政大学配送時にはすでに付されていたもの

写真付2 段ボール箱の外観











写真付3 保管場所全体



写真付4 A列およびB列



上段

A-1-1

200	200	200	200	200	200			
263 ~	273	792 ~	826	727 ~	752			

A-2-1

200	200	200	200	200	200			
727 ~	752	416 ~	446	360 ~	380			

A-3-1

200	200	200	200	200	200			
661 ~	683	381 ~	415	218 ~	235			

A-1-2

200	200	200	200	200	200			
183 ~	196	197 ~	217	753 ~	791			

A-2-2

200	200	200	200	200	200			
753 ~	791	838 ~	879	827 ~	837			

A-3-2

200	200	200	200	200	200			
940 ~	952	274 ~	299					

A-1-3

201	201	200	200	200	200			
064 ~	092	161 ~	182	076 ~	126			

A-2-3

200	200	200	200	200	200			
076 ~	126	127 ~	160	021 ~	037			

A-3-3

200	200	200	200	200	200			
021 ~	037	038 ~	075	919 ~	939			

A-1-4

107	107	201	201	201	201			
508 ~	539	093 ~	145	992 ~	024			

A-2-4

201	201	200	200	107	107	201	201	
045 ~	063	712 ~	726	571 ~	594	025 ~	044	

A-3-4

201	201	200	200	200	200			
025 ~	044	007 ~	020	684 ~	693			

下段

A-1-5

107	107	107	107	107	107	107	107	
066 ~	094	008	038	095 ~	114	965 ~	983	

A-2-5

107	107	106	106	107	107	107	107	
965 ~	983	926 ~	951	595 ~	614	897 ~	934	

A-3-5

106	106	107	107					
747 ~	768	418 ~	444					

**B**

上段

B-1-1

200	200	200	200	200	200		
953 ~	965	880 ~	918	966 ~	991		

B-2-1

200	200	200	200	201	201		
966 ~	991	001 ~	006	146 ~	154		

B-1-2

106	106	106	106				
102 ~	177	177 ~	225				
	1/2	2/2					

B-2-2

100	100	100	100	100	100		
114 ~	127	128 ~	145	146 ~	157		

B-1-3

105	105	104	104	103	103		
901 ~	987	037 ~	060	927 ~	961		
1/2							

B-2-3

100	100	100	100	100	100	100	
002 ~	023	024 ~	041	042 ~	057	058 ~	075
(001欠)		(040欠)					

B-1-4

103	104	103	103				
962 ~	036	848 ~	926				
1/2							

B-2-4

100	100	100	100	100	100		
459 ~	476	477 ~	493	494 ~	511		

下段

B-1-5

107	107	106	106				
499 ~	507	826 ~	842				

B-2-5

100	100	100	100	100	100		
549 ~	567	568 ~	582	583 ~	600		

B-3-2

100	100	100	100	100	100		
158 ~	176	177 ~	192	193 ~	210		

B-3-3

100	100	100	100	100	100		
058 ~	075	076 ~	092	093 ~	113		

B-3-4

100	100	100	100	100	107	107	
494 ~	511	512 ~	530	531 ~	548	300	325

B-3-5

100	100	100	100	107	107		
601 ~	615	616 ~	635	371 ~	391		
					1/2		

C

上段

C-2-1

200	200	200	200	200	200		
236	~	262	300	~	325	326	~

C-3-1

200	200	200	200	200	200		
326	~	359	626	~	639	640	~

C-1-2

100	100	100	100	100	100	100	100
193	~	210	211	~	224	225	~

C-2-2

100	100	100	100	100	100	100	100
244	~	262	263	~	279	280	~

C-3-2

105	105	105	105	105	106	106	106
229	~	325	326	~	383	102	~
							1/2

C-1-3

100	100	100	100	100	100		
293	~	310	311	~	327	328	~

C-2-3

100	100	100	100	100	100	100	100
328	~	345	346	~	362	363	~

C-3-3

106	106	106	105	105			
015	~	127	717	~	899		
			2/2				

C-1-4

100	100	100	100	100	100		
381	~	398	399	~	415	416	~

C-2-4

100	100	100	100	100	100	100	100
416	~	429	430	~	443	444	~

C-3-4

101	101	104	104				
408	~	445	141	~	203		

下段

C-1-5

100	100	100	100	105	105		
636	~	650	651	~	668	568	~

C-2-5

105	105	105	105	105	105	105	105
568	~	716	465	~	567	384	~

C-3-5

105	105	108	108	108	108	108	108
384	~	464	163	~	201	024	039

**D**

上段

D-1-1

107	107	107	107	107	107		
836 ~	870	647 ~	675	727 ~	789		

D-2-1

107	107	107	107	107	107		
727 ~	789	790 ~	809	039 ~	052		
			2/2				

D-3-1

106	106	106	106	106			
952 ~	970	971 ~	993				

D-1-2

107	107	102	102				
810 ~	834	349 ~	378				

D-2-2

101	101	107	107	106	106		
252 ~	293	445 ~	478	873 ~	894		

D-3-2

106	106	106	106	107	107		
873 ~	894	769 ~	788	935 ~	964		

D-1-3

200	200	200	200				
507 ~	526	447 ~	473				

D-2-3

106	106	200	200				
843 ~	858	474 ~	483				

D-3-3

102	102	102	102	102			
379 ~	446	692 ~	936				

D-1-4

102	102	102	102	103			
447 ~	531	532 ~	814	984 ~	008		

D-2-4

102	103	101	102	101	101		
984 ~	008	968 ~	228	728 ~	967		

D-3-4

102	102	102	102				
229 ~	251	252 ~	348				

下段

D-1-5

101	101	101	101				
294 ~	325	344 ~	383				

D-2-5

101	101	101	101	101	101		
326 ~	343	384 ~	407	016 ~	047		

D-3-5

101	101	101	101	101	101		
016 ~	047	000 ~	015	048 ~	069		

E

上段

E-1-1

107	107	106	107	106	106			
053 ~	065	994 ~	007	909 ~	925			

E-2-1

106	106	200	200	200	200			
909 ~	925	542 ~	600	601 ~	625			

E-3-1

200	200	200	200	108	108			
601 ~	625	484 ~	506	040 ~	061			

E-1-2

107	107	107	107	200	200			
115 ~	137	326 ~	350	694 ~	711			

E-2-2

200	200	108	108	107	106	106		
694 ~	711	202 ~	241	984 ~	999	726 ~	746	

E-3-2

106	106	107	107	200	200			
726 ~	746	615 ~	630	527 ~	541			

E-1-3

106	106	106	106	106	106			
636 ~	652	622 ~	635	653 ~	668			

E-2-3

106	106	106	106	108	108			
443 ~	465	492 ~	504	000 ~	023			

E-3-3

108	108	106	106	106	106	106		
000 ~	023	466 ~	491	505 ~	530			

E-1-4

106	106	106	106	106	106			
570 ~	589	590 ~	614	859 ~	872			

E-2-4

106	106	106	106	107	107			
859 ~	872	684 ~	701	166 ~	207			

E-3-4

106	106	106	106	106	106			
669 ~	683	531 ~	569					

下段

E-1-5

101	101	107	107	106	106			
214 ~	251	405 ~	416	715 ~	725			

E-2-5

106	106	107	107	106	106	107		
715 ~	725	351 ~	370	705 ~	714	139 ~	165	
							2/2	

E-3-5

107	107	107	107	106	106	106		
139 ~	165	208 ~	229	789 ~	801			
			2/2					

F

上段

F-1-1

107	107	106	107	100	100				
407	~	830	703	~	335	001	~	020	

F-2-1

100	100	100	100	100					
918	~	940	901	~	917				

F-3-1

103	103	100	100	100					
639	~	782	941	~	966				

F-1-2

103	103	103	103						
592	~	625	626	638					

F-2-2

100	100	100	100	100					
762	~	776	777	~	794				

F-3-2

100	100	100	100	100					
669	~	688	741	~	761				

F-1-3


F-2-3

100	100	101	101	101					
835	~	847	148	~	171				

F-3-3

103	103	101	101	101					
224	~	293	709	~	752				
1/4									

F-1-4


F-2-4

101	101	101	101	101					
570	~	615	681	~	704				

F-3-4

105	105	104	104	104					
142	~	225	204	~	700				

F-1-5


F-2-5

101	101	101	101	101					
070	~	106	107	~	147				

F-3-5

101	101	104	104	104					
446	~	467	061	~	140				
					2/2				

下段

上段

G-1-1

100	100	100	100	103	103			
867 ~	884	885 ~	900	783 ~	847			

G-2-1

103	103	101	101	106	106			
783 ~	847	172 ~	213	802 ~	825			

G-3-1

			100	106				
			040 ~	702				

G-1-2

100	100	100	100	100	100			
705 ~	725	726 ~	740	689 ~	704			

G-2-2

100	100	100	100	100	100			
689 ~	704	811 ~	834	795 ~	810			

G-3-2

100	100	100	100	100				
848 ~	866	967 ~	999					

G-1-3

103	103	101	101					
163 ~	223	726 ~	782					
	3/3							

G-2-3

103	103	103	103					
557 ~	591	294 ~	556					

G-3-3


G-1-4

104	104	103	103					
701 ~	822	099 ~	162					

G-2-4

101	101	103	103					
644 ~	680	009 ~	098					
			2/2					

G-3-4


下段

G-1-5

101	101	101	101					
511 ~	569	468 ~	510					

G-2-5

101	101	104	105					
616 ~	643	823 ~	141					

G-3-5
